

定量化できない効果の特徴と課題について（実感されている効果の整理）

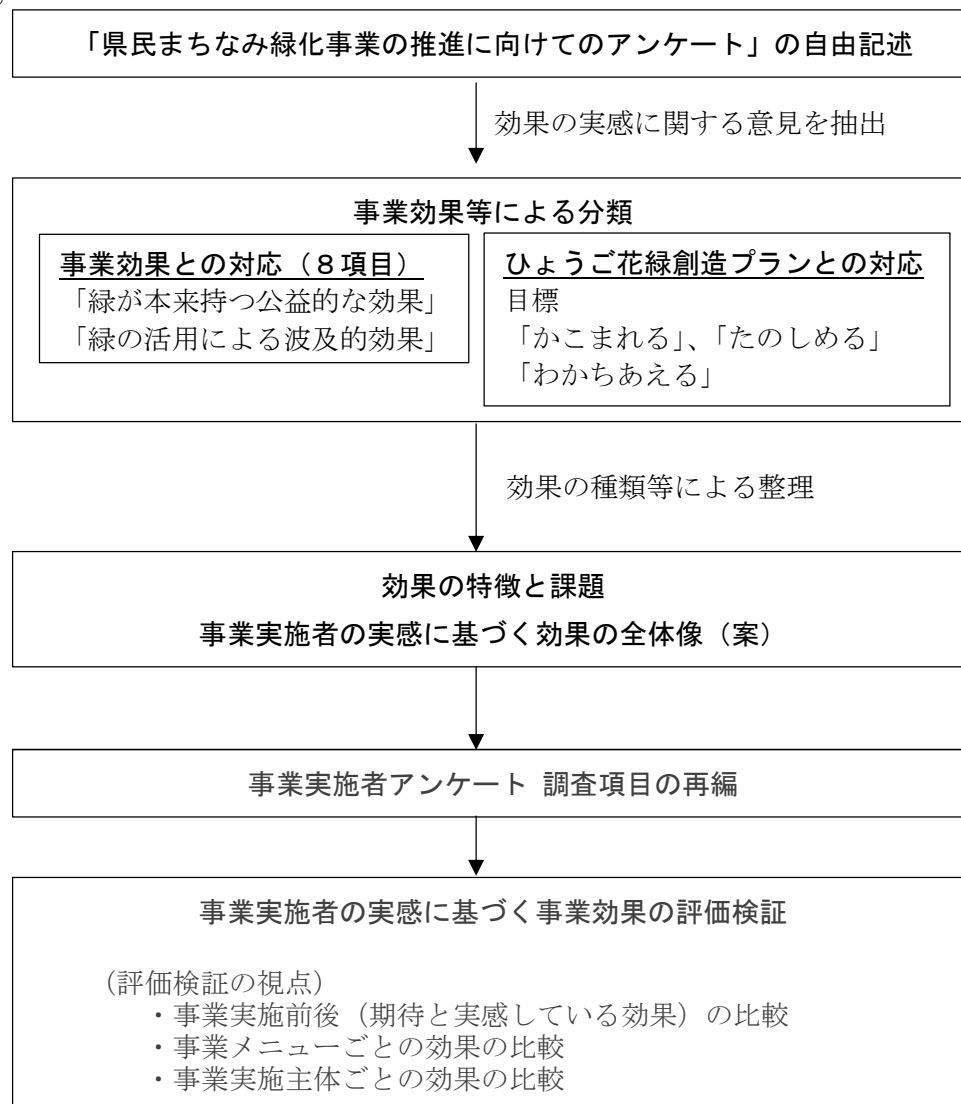
1. 前回小委員会の意見

- ・ 定量化できない効果をどのように示すかが課題
- ・ 事業メニュー毎に効果の発現の仕方が異なるのではないか
- ・ 事業効果をセグメント化し全体像をなんとなくわかってもらうような評価の仕方、工夫が必要

2. 事業実施者の実感に基づく効果の整理について

事業実施者が「実感されている効果」について、アンケートやヒアリングを踏まえた事業効果の整理を検討。

定量化しづらい効果（実感されている効果）を整理するため、アンケートにおける自由記述意見の内容から、実感されている効果を抽出し、事業効果の分類や上位計画である花緑創造プランに掲げる目標との対応を確認することで、効果の全体像を検討。



【事業効果の分類 第2期評価・検証による事業効果】

事業効果	緑が本来持つ公益的な効果	2-1 環境効果	(1) 猛暑への対応効果 ① 地表面温度の低下(ヒートアイランド現象の緩和) ② 緑陰形成による体感温度の軽減 ③ 屋上緑化による消費電力削減 (2) 二酸化炭素低減効果 (3) その他の環境効果 ① 防塵 ② 大気浄化 ③ 騒音防止
		2-2 景観効果	(1) 景観効果
		2-3 防災効果	(1) 都市型水害発生リスク低減効果 (2) 樹木による延焼防止効果 (3) 建物倒壊防止・落下物飛散防止効果
	緑の活用による波及的効果	3-1 環境学習効果	自然とのふれあいを深める環境学習の場
		3-2 教育環境向上効果	保育環境・教育環境の向上・改善 体力や運動能力が向上 コミュニケーション促進の効果
		3-3 コミュニティ形成効果	地域コミュニティ形成や地域交流の拡大
		3-4 心理的効果	疲労感を和らげる効果 癒し効果 ストレス軽減
		3-5 地域核の再生	シビックプライドの醸成
		3-6 その他の効果	(1) 生物多様性の確保 (2) 健康増進効果

【ひょうご花緑創造プランにおける目標および基本方針】

花緑にふれあう機会

かこまれる

身近にある、目に見える花緑が多いほど、花緑にふれる機会が増え、『恵み』を享受しやすくなるため、特に都市地域など比較的緑が少ない地域において、花緑の量や花緑へのアクセスのしやすさなど花緑に囲まれることが重要です。

たのしめる

まちの景観を向上させる花壇や運動ができる芝生広場、自然を観察できるピオトープなど身近な花緑が多様であり、また花緑の種類やデザイン性などより多様で質の高い花緑を楽しめることが重要です。

かかわれる (わかちあえる)

花緑をさわったり育てたり、維持管理等にかかわれる花緑が多いほど、花緑活動を通じて仲間とつながり、価値をわかちあえることでやりがいや生きがいを感じられるなど花緑にかかわれることが重要です。

基本方針1

「花と緑を活かして、人と人・地域とのつながりやコミュニティをつくります」

私たちは、公園・緑地を維持・確保するとともに、花と緑にかかわる活動を通じた交流によって、世代を超えた人と人、人と地域とのかわりをもち、互いに認め合うことで、豊かであたたかな人と人、人と地域とのつながりを実感できる暮らしの実現をめざします。

花緑による人と人・地域とのつながりある暮らしのイメージ



公園などでの花壇づくりがきっかけとなって、地域住民同士の交流が広がっています。

基本方針2

「花と緑を活かして、人にやさしい環境をつくります」

私たちは、広域や生活に身近な緑地の量と質の確保や、ヒートアイランド対策など都市環境の改善による人と自然の持続可能な関係の再構築など、地域特性に応じた花と緑の保全・再生・創造・活用によって、自然の恵みを受ける人にやさしい暮らしの実現をめざします。

花緑による人にやさしい暮らしのイメージ



身近な緑地による都市環境の改善で、快適な環境の確保と環境保全意識の醸成につながっています。

基本方針3

「花と緑を活かして、自然と共生した環境をつくります」

私たちは、緑の連続性の確保による生物多様性の保全など、地域特性に応じた花と緑の保全・再生・創造・活用によって、自然と共生した暮らしの実現をめざします。

花緑による自然と共生した暮らしのイメージ



都市近郊の自然地を活用し、自然体験の機会を増やすことで、生物多様性の保全や活動への意識の醸成につながっています。

基本方針4

「花と緑を活かして、すべての世代の健康や生きがい、地域間の交流や地域への愛着、にぎわいをつくります」

私たちは、多様な世代による花と緑にかかわる活動や子育て環境を充実させることによって、心身の健康づくりやレクリエーションにつなげるとともに、誰もが学びの喜びを実感し、自分らしいライフスタイルの実現や地域社会での役割を得ることで、充足感や幸福感を感じられる社会をめざします。

地域固有の花や緑の保全・創出・活用によって、地域景観の向上や地域活性化の拠点づくりを進めることで、愛着やにぎわいを感じられる地域づくりをめざします。

花緑団体同士の交流やオープンガーデンなど花緑活動を通じた地域間の交流によって、連携を深め、互いに支え合い、魅力を高め合うことで、活力ある地域づくりをめざします。

花緑による健康、充足感のある暮らしのイメージ



校庭の芝生化や花壇づくりによって、子どもたちや地域住民の体を動かす機会や、やりがいのある活動への機会が増えています。

花緑による地域の愛着やにぎわい・交流を感じる暮らしのイメージ

商店街では、花緑のある気持ちよい空間づくりが自主的に進められ、そのおかげで来訪者が増え、地域に活気が出てきています。



基本方針5

「花と緑を活かして、安全・安心に暮らせる地域をつくります」

私たちは、安全安心を支える災害に強い森づくりや公園・オープンスペースの整備、生活環境の保全、緑地や森林の保全によって、防災減災機能を確保するとともに、森林整備への住民参画や花と緑にかかわる活動が育む自助・共助による地域防災力が向上することで、災害や危機に強い安全安心な地域づくりをめざします。

花緑による安全・安心な暮らしのイメージ



普段から地域住民による花壇づくりが行われていることで、避難訓練などの防災力の向上につながる活動が展開されています。また、いつも知っている誰かがいるため、安心して遊んだりすることができます。

県民まちなみ緑化事業を実施してみて、 実感している効果を教えてください！

下の文章を読んで感じた気持ちを◎○△×で教えてください。県まち事業では、こんな効果を実感していただけることを目指しています。



あてはまる



まあまあ
あてはまる



あまり
あてはまらない



全く
あてはまらない

いずれかを記入してください。

- 砂埃や騒音の軽減など、住環境が良くなった
- 木陰やみどりで覆われた場所が増え、涼しく感じるようになった
- 環境や人にやさしい暮らしを送っていると感じられるようになった
- 花や緑のおかげで敷地内の景観が良くなった
- 緑化をきっかけに周辺のまちなかの景観も良くなった
- 季節の花や緑を見ることが楽しみになった
- 局地的大雨などによる水害の軽減に役立つと思う
- 火災時の延焼を防いでくれると思う
- 地震などの際に建物やブロック塀などの倒壊による被害の軽減に役立つと思う
- 子ども達が花や緑にふれられる機会が増えた
- 子ども達が花や緑に興味を持つようになった
- 子ども達が花や緑のお世話などに自らかかわるようになった
- 子ども達が屋外で遊ぶ機会や、授業などで屋外を利用する機会が増えた
- 子ども達がけがをしにくくなったり、体力向上や食欲向上などの良い影響がでるようになった
- 子ども達が外遊びやスポーツなどの集団行動を通じて、コミュニケーションが活発になった
- 地域の人や来訪者と会話する機会や、来訪者同士の交流の機会が増えた
- 他の団体等との交流や連携や協働の機会が増えた
- 利用者やイベント等への参加者が増えるなど、にぎわいを感じられるようになった
- 花や緑を眺めるようになった
- 花や緑のある場所で過ごすことで、癒されたり、和むようになった
- 花や緑のお世話などでかかわることで、癒しややりがいを感じられるようになった
- 花や緑に関心を持つようになった
- 花や緑をきっかけに地域のことに対する関心が高まった
- 花や緑のある自分のまちに愛着を持てるようになった

■実施された事業メニューに○をつけてください。

一般緑化 ・ ひろばの芝生化 ・ 校園庭の芝生化 ・ 駐車場の芝生化 ・ 屋上緑化

■事業を実施された方(団体名、事業所名、学校名など)

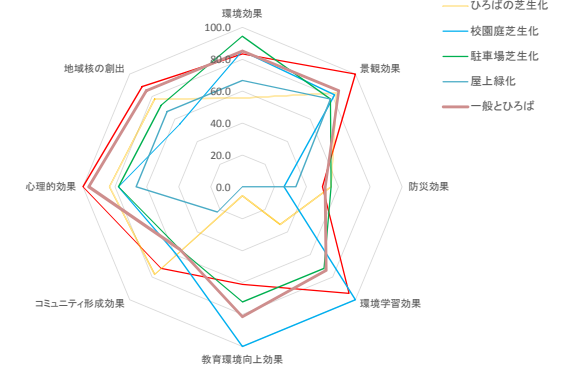
ご協力ありがとうございました！

実感されている効果の評価サンプル

実感されている効果(アンケート項目案)		一般緑化	ひろばの芝生化	校園庭芝生化	駐車場芝生化	屋上緑化	一般とひろば
1 環境効果		15	10	23	17	6	23
1-1	・砂埃や騒音の軽減など、住環境が良くなった	4	2	8	6	2	7
1-2	・木陰やみどりて覆われた場所が増え、涼しく感じるようになった	5	5	7	6	2	8
1-3	・環境や人にやさしい暮らしを送っていると感じられるようになった	6	3	8	5	2	8
2 景観効果		18	15	22	14	7	23
2-1	・花や緑のおかげで敷地内の景観が良くなった	6	6	9	6	3	9
2-2	・緑化をきっかけに周辺のまちなかの景観も良くなった	6	3	6	3	2	6
2-3	・季節の花や緑を見ることが楽しみのようになった	6	6	7	5	2	8
3 防災効果		9	10	7	10	3	14
3-1	・局地的大雨などによる水害の軽減に役立つと思う	3	2	3	3	1	5
3-2	・火災時の延焼を防いでくれると思う	2	4	2	4	2	5
3-3	・地震などの際に建物やブロック塀などの倒壊による被害の軽減に役立つと思う	4	4	2	3	0	4
4 環境学習効果		17	6	27	13	0	20
4-1	・子ども達が花や緑にふれられる機会が増えた	6	3	9	4	0	8
4-2	・子ども達が花や緑に興味を持つようになった	6	3	9	4	0	7
4-3	・子ども達が花や緑のお世話などに自らかかわるようになった	5	0	9	5	0	5
5 教育環境向上効果		11	1	27	13	0	22
5-1	・子ども達が屋外で遊ぶ機会や、授業などで屋外を利用する機会が増えた	5	0	9	4	0	7
5-2	・子ども達がけがをしにくくなり、体力向上や食欲向上などに良い影響がでるようになった	4	0	9	5	0	8
5-3	・子ども達が外遊びやスポーツなどの集団行動を通じて、コミュニケーションが活発になった	2	1	9	4	0	7
6 コミュニティ形成効果		13	14	16	10	2	15
6-1	・地域の人や来訪者と会話する機会や、来訪者同士の交流の機会が増えた	5	6	6	4	1	8
6-2	・他の団体等との交流や連携や協働の機会が増えた	4	4	5	3	1	4
6-3	・利用者やイベント等への参加者が増えるなど、にぎわいを感じるようになった	4	4	5	3	0	3
7 心理的効果		18	15	21	14	6	26
7-1	・花や緑を眺めるようになった	6	3	7	5	2	9
7-2	・花や緑のある場所で過ごすことで、癒されたり、和むようになった	6	6	7	5	2	9
7-3	・花や緑のお世話などでかかわることで、癒しややりがいを感じるようになった	6	6	7	4	2	8
8 地域核の創出		16	14	15	13	6	23
8-1	・花や緑に関心を持つようになった	6	5	7	5	2	8
8-2	・花や緑をきっかけに地域のことに対する関心が高まった	5	3	4	4	2	7
8-3	・花や緑のある自分のまちに愛着を持てるようになった	5	6	4	4	2	8
サンプル数		2	2	3	2	1	3
満点		18	18	27	18	9	27

実感されている効果(アンケート項目案)		一般緑化	ひろばの芝生化	校園庭芝生化	駐車場芝生化	屋上緑化	一般とひろば
1 環境効果		83.3	55.6	85.2	94.4	66.7	85.2
2 景観効果		100.0	83.3	81.5	77.8	77.8	85.2
3 防災効果		50.0	55.6	25.9	55.6	33.3	51.9
4 環境学習効果		94.4	33.3	100.0	72.2	0.0	74.1
5 教育環境向上効果		61.1	5.6	100.0	72.2	0.0	81.5
6 コミュニティ形成効果		72.2	77.8	59.3	55.6	22.2	55.6
7 心理的効果		100.0	83.3	77.8	77.8	66.7	96.3
8 地域核の創出		88.9	77.8	55.6	72.2	66.7	85.2

実感されている効果【試行】



※各効果の分類ごとの満点(3点×3問×サンプル数)に対する得点率。